



ホッピーだより

No.424
2020年3月1日発行

むかわ町穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6
Tel 0145-45-3141
ホームページ <http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>
ブログ <http://pomu.town.mukawa.lg.jp/1086.htm>

研究報告第 35 号 (3 月 1 日発行) (<http://www.town.mukawa.lg.jp/3389.htm>) の内容紹介

博物館の活動を理解するための教材開発と実践

はくぶつかんのしごと
ほべつはくぶつかん (穂別博物館)

①あつめる
しゅうしゅう ほかん (収集・保管)
●おもに化石

②しらべる
ちようさ けんきゆう (調査・研究)
●化石クリーニング
●むかわ竜・首長竜・アンモナイトなどのデータ収集
●論文作成

③つたえる
きょういく ふきゆう (教育・普及)
●展示をつくる・展示する。
●展示解説などをする。
●博物館だよりをつくる。
●新聞・テレビに情報を伝える。

はくぶつかんのそれぞれの部屋ごとの役割を調べよう。
() のなかにしごとの①～③を書こう。

博物館の部屋ごとの役割から、博物館の活動・仕事を考える教材を制作し、実践しました。

西村智弘 (穂別博物館) p. 1-9

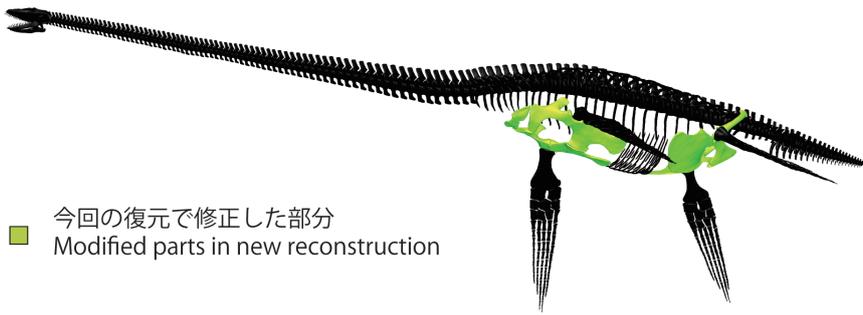
むかわ町穂別産の白亜紀海生爬虫類化石の産出数

	ウミガメ類	クビナガリュウ類	モササウルス類	計
函淵層群	33	0	5	38
上部蝦夷層群	1	8	3	12
中部蝦夷層群	1	1	0	2
不明	4	7	1	12
計	39	16	9	64

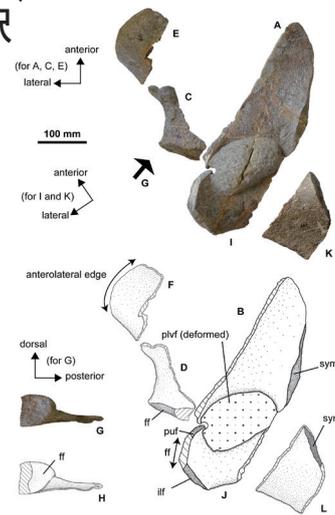
むかわ町穂別の白亜系から産出する海生爬虫類化石 (穂別博物館・国立科学博物館収蔵資料) を調べ、地層ごとの産出数を明らかにしました。

関口修司 (京都大学)・佐藤たまき (東京学芸大) p. 10-17

ホベツアラキリュウの肢帯したい きょうたい ようたい さいかいしゃく (胸帯・腰帯) の再解釈



■ 今回の復元で修正した部分
Modified parts in new reconstruction

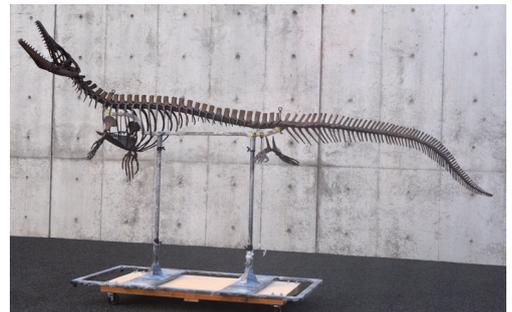
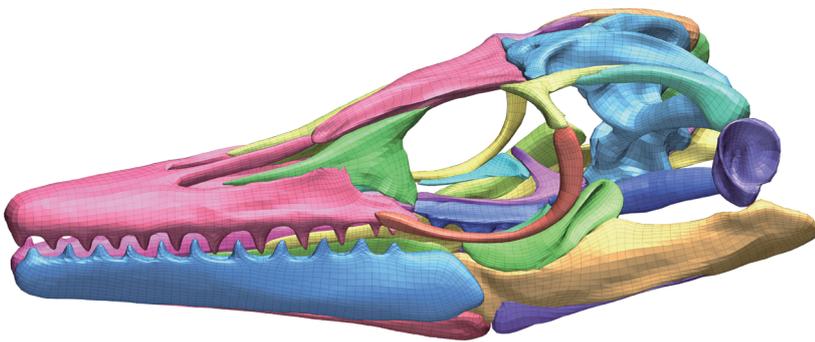


再記載の一部

1989 年に記載されたホベツアラキリュウ (HMG-1) の肢帯の再記載・再解釈を行い、これに基づいて行った復元骨格の修正などについて記しました。

佐藤たまき (東京学芸大) ほか p. 19-32

フォスフォロサウルスの全身復元模型製作過程ぜんしんふくげん もけい せいさく かてい



全身復元模型 (レプリカ) 製作過程について記しました。

新村龍也 (足寄町動物化石博物館) ・小西卓哉 (シンシナティ大学) p. 33-38

2018 年北海道胆振東部地震からの穂別博物館復旧過程いぶり じしん ほべつ ふつきゅうかてい

地震被害からの職員による博物館復旧過程について記しました。

西村智弘 (学芸員) p. 39-40



苫小牧から約 1 時間半
札幌から千歳経由で約 2 時間
道東道むかわ穂別 IC より約 20 分

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生~高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10 名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生~高校生：無料

2020 年 3 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2020 年 4 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■ 休館日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館します (3/1 ~ 16)。